

1月4日
管内市町村のトップを切って
弟子屈消防の出初式



弟子屈消防の出初式が1月4日、役場駐車場などで行われました。消防力の充実・強化と、消防職団員の士気高揚を目的に、毎年開催されています。式には、消防職団員や来賓など約80人が出席。役場駐車場で観閲式を行った後、消防団ラッパ隊を先頭に、消防車両10台を含む消防隊が中央通りを行進しました。消防隊の勇姿に、沿道からは拍手が贈られていました。また、長年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰も行われ、年の初めに防火・防災意識を新たにしました。

1月1日～2月29日
ばん馬の写真にキルトの作品
道の駅摩周温泉の企画展



1月から、道の駅摩周温泉の展示が変わりました。1階ギャラリーでは、第7回摩周湖ばん馬大会フォトコンテスト作品展を開催。昨年、町内で行われた同大会で撮影された、生き生きとした、ばん馬の写真が展示されています。1階イベントコーナーでは「きずなのなかま達」によるキルト展を開催。繊細で温かみのあるキルト作品が展示してあります。展示期間は2月29日(月)までですので、一度ご覧になってみませんか。

1月6日
華麗なはしご乗りを披露
川湯消防の出初式



川湯消防出初式が1月6日、川湯消防庁舎で行われました。式には、消防職団員や来賓、関係者など約50人が出席し、恒例のはしご乗りの披露などが行われました。川湯消防庁舎前で行われたはしご乗りでは、高さ約7メートルの竹はしごの上で、そろいの法被を着た職団員が華麗な技を披露し、見物していた皆さんから拍手喝さいが送られました。また、長年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰が行われ、今年1年の防火・防災の意識を新たにしました。

1月4日～2月29日
女性ならではの視点で日常を切り取り
川湯エコミュージアムセンターで企画展



川湯エコミュージアムセンターの2階ギャラリーで1月4日から「オトナ女子のツナガル写真展 Five Colors～五人五色の日常～」が開催されています。職場が川湯にあることから、仕事関係でつながった5人の女性が撮影した32点を展示。通勤途中で見かけた風景、休日や自宅での過ごし方などが紹介されていて、笑いながら見ることができます。訪れた方からは「地元の幸せを、それぞれのアングルでとらえていて面白かった」といった声が聞かれました。2月29日(月)まで行われていますので、ぜひ一度ご覧になってみませんか。

1月8日
長年にわたり地方自治の発展に貢献
故 坪井嗣雄さんが正六位と旭日雙光章を受章



昨年9月に任期半ばで逝去された、前・町議会議員の故 坪井嗣雄さん(朝日3)に、特旨叙位・正六位と特別叙勲・旭日雙光章が授与されました。伝達式は1月8日に行われ、坪井さんの妻・輝子さんに、徳永町長から位記、勲記と勲章が手渡されました。坪井さんは、1963(昭和38)年に町議会議員に初当選。町議会議長などの要職を担うなど、32年の長きにわたり、地方自治の発展と地域の活性化に貢献したとして、この度の受章となったものです。

1月7日
みんなの体をつくる食事を大切に
放課後児童クラブの子どもたちが食育調理実習



町内4カ所の放課後児童クラブを利用する子どもたちを対象とした、町主催の食育調理実習が行われました。食育推進計画策定時に行ったアンケート調査では、朝食を食べない子どもたちが急増していることが明らかになっています。調理実習は、学童期から食事の大切さを学んでほしいと行われました。1月7日には、げんきクラブを利用する子どもたちが、町の石塚員可管理栄養士の指導の下、カレーライス作りに挑戦。自分たちで作ったカレーを味わった後、食事の大切さについて説明を受けました。

12月18日
安全運転への意識新たに
弟子屈町交通安全大会を開催



弟子屈町交通安全運動推進協議会・弟子屈町交通安全協会主催の平成27年度弟子屈町交通安全大会が社会老人福祉センターで行われました。大会には、自治会関係者など約80人が参加。町交通安全運動推進協議会や全日本交通安全協会などから、優良運転者などに対する表彰が行われ、14人が表彰を受けました。また、弟子屈警察署の名雪淳也地域・交通課長による講演「管内の交通情勢について」も行われ、参加者の皆さんは熱心に聴き入っていました。

12月22日
犯罪の起きやすい年の暮れに注意喚起
関係団体が協力して歳末警戒街頭啓発



町と弟子屈町暴力追放運動推進協議会、弟子屈防犯協会による歳末警戒街頭啓発が12月22日、弟子屈市街地区で行われました。犯罪の起きやすい年末を迎え、地域の方に注意を呼び掛けるために行われたものです。主催者のほか、弟子屈警察署、弟子屈地区防犯協会連合会、弟子屈地区少年補導員連絡協議会、川湯防犯協会、弟子屈町自主防犯パトロール隊、川湯防犯青色パトロール隊などの皆さんが、市街地区の大型店や金融機関などを回り、利用者に啓発品を手渡しして注意を呼び掛けました。

カメラスケッチ
広報が行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

12月21日
地域が目指すべき姿を決定
南弟子屈地域活性化協議会で7回目の会議



南弟子屈地域活性化協議会(小澤重則会長)の第7回ワーキンググループ会議が12月21日、旧昭栄小学校で開催されました。同協議会は昨年5月設立。地域の活力とコミュニティの核を担ってきた昭栄小学校の閉校を受け、地域ぐるみでのまちづくりを進めようと設立されたものです。今回は、過去6回のワーキンググループ会議で話し合った内容をもとに、30年後の地域があるべき姿「将来ビジョン」を策定しました。(27ページ参照)

1月1日
餅まきや川湯ばやしなどで新年を祝う
道の駅でお正月イベント



道の駅摩周温泉で1月1日、恒例の新春感謝祭が行われました。新春感謝祭は、道の駅のリニューアルオープン後から毎年行われているもので、今年で5回目。正面玄関前で川湯ばやしが披露されたほか、前庭では、くじ入りの餅まき大会が行われ、多くの方でにぎわいました。館内では、直売会特製の福袋が販売されたほか、地場産の牛乳やお汁粉がふるまわれ、来場者の皆さんは、お正月気分を満喫していました。

12月25日
地域の役に立ちたい
協和建設が社会貢献で防護柵撤去



(株)協和建設(延藤政則代表取締役)の皆さんが12月25日、見晴台団地の防護柵の撤去作業を行いました。同団地の柵は例年、雪で倒れてしまうため、撤去して冬期間保管し、春に再び設置しています。冬の撤去と春の設置は、同社が社会貢献の一環として行っています。参加した皆さんは、手際よく作業を進めていました。